



日本寫真帖

**A 江 津** (都立江津町)  
 江津は舞田の支流に在る小郡會にして酒菜精、見らへきものあり有るは江津橋は其長さ百九十間あり

**B 外の浦港** (長瀬浦町)  
 浦港は海水深く潮入して嘉年毎且西口を閉し船の宛所に通せり

**C 楠木神社** (美濃郡美津村)  
 社は美濃郡に在りて社樹楠木人々を祀る樹なり境内は老樹約百として樹冠に深み一石見のや高食肉の本の樹よりわが樹を結見つらんか一の歌は美濃人口に傳えざる處なり

**D 濱田港** (美濃郡濱田町)  
 濱田港は美濃川の西海岸にして美濃村並り船物の荷運場

なり前山の右方には瀬戸島、美野島、高島の三島ありて諸島を航し中に居て瀬戸島は眺望に宜み小西園の稱あり

**E 大嶽山遠景**  
 日本海軍に純文として山嶽に大嶽山神社あり天日輪を祀る千坪の社林全山を蔽ひ前山として北海航行の日標となる國は那智郡那智村よりの遠景なり

**F 竹 島**  
 日本海軍に於て備へて居る世界に冠せられたる國島は日本海の中に在る一島の離嶼にして是島は一山嶽本なく又飲料水なく磯磯のる離嶼明立して遠處に隔門を隔り海軍極めて深く特務に授けらるる島は海島と云ふに日本海中に於ける海嶼の青嶼にして是國歌月則海嶼の責任するあるのみ

A	B
C	D
E	

-49- 200 100-

일본사진첩

다야마 무네토 田山宗堯 편집 1912년

도모에 상회 발행

다케시마의 사진이 게재된 출판물

【다케시마 자료실 소장】